

コロナ禍の診療材料確保

令和2年度クオリティマネジメント報告会
事業管理部 施設課 物品係

診療材料の争奪戦で確保難しく!!

不織布

- マスク ガウン キャップ シーツ^{など}

衛生材料

- 手袋(ニトリル、プラスチック、ポリエチレン)
フェイスシールド ビニールエプロン 体温計^{など}

消毒液

- 手指消毒剤 アルコール製剤^{など}

診療材料なぜ不足？

- ほとんどが中国製、または海外製のため、世界的な需要量の増加により、国内に入っていない。
- メーカーの製造ラインの取り合いとなり、価格の高騰がおきた。
- 製造国で新型コロナウイルス感染が拡大し、工場での製造がストップすることも



価格交渉から安定供給へ重点シフト



- ①情報を敏感に収集・分析
- ②取引業者と交渉・協力依頼
- ③病院内の在庫状況を把握

卸業者・メーカーと価格交渉を常に行なっていたが、まずは、安定供給できる体制へ

【体制変更】 必要最低限から貯蔵へ



院内の消費量を把握

予測値を算出

貯蔵倉庫を整備



診療材料 確保状況

品目	サージカルマスク	ガウン	グローブ	フェイスシールド	その他
成果	コロナ発生時にいち早く数ヶ月分確保。採用品が販売中止に陥るが、他メーカー品に切替えて対応	早い時点で在庫確保。採用品が販売中止に陥るが、他メーカー品に切替えて在庫確保	卸業者・メーカーと協議・交渉し、安定供給を確保	早い時点で在庫確保	価格高騰がある場合、他メーカー品へ変更するなど、情報を分析し、バランスをみて対応 欠品、入荷遅れ時院内調整にて既存品にて対応等
状況	○	○	○	○	○
今後の懸念材料	-	<ul style="list-style-type: none"> ・価格高騰 ・在庫払出後の採用品の選定 	<ul style="list-style-type: none"> ・需要増による価格高騰 ・採用品の製造中止リスク 	-	<ul style="list-style-type: none"> ・いつなにか欠品や品薄になるかわからない



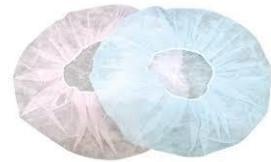
物品調達部門のプロ意識

2020年の新型コロナウイルス発生により、世の中にマスクが不足したり、その後もさまざまな品目で物品不足に陥った。

多くの医療機関が苦勞するなか、当院は、2020年1月の早い段階から準備をし、物品確保に努めた。

取引業者と迅速に情報共有・交渉をし、品薄になりそうな品目は早期に確保する等、在庫状況を把握しながら先を見据えての戦略をとった。同時に、メーカー切替等の手法も駆使しながら物品確保に努めている。

その結果、第一種感染症指定医療機関として診療に支障のきたす物品不足は1度も起きていない。



まとめ

- 先を見据えて、迅速に動くことで危機回避をすることができている。
- 日頃から取引業者と信頼関係を築いていたため、いざというときに多くの協力・支援があった。
- 今後も、クオリティ(質)とマネジメント(経営管理)を常に考え調達を行なっていきたい

